



内閣総理大臣賞を受賞した狩野和紀さん

狩野和紀さんに内閣総理大臣賞

狩野和紀さん・郁江さん夫妻(永井上)が、11月14日に東京・明治神宮会館で開催された農林水産祭式典で、農産・蚕糸部門における内閣総理大臣賞受賞の快挙を成し遂げました。

この賞は、農林水産業者の技術改善と経営発展への貢献を国民に広く知ってもらうために国が表彰しているもの。

狩野さんは、こんにやく芋の栽培における、経営の安定化と大規模化に取り組むとともに、安定生産のために、過去

の栽培記録を生かした種芋の徹底管理や、トウモロコシの残渣のすき込みによる、丁寧な土作りを実践。また、妻の郁江さんは、女性が安心して働ける環境を整備し、労働力確保と子育ての両立を実現していることなどが高く評価されました。

狩野和紀さんは「関係各位のご指導と妻の支えで受賞することができました。冷害など気象状況が悪い中で不安もありますが、毎日考えながら今後も頑張りたい」と今後の抱負を語りました。

保育園・小学校で避難訓練を実施

村内小学校と保育園では、10月から11月にかけて、火災を想定した避難訓練を実施しました。この訓練は、空気が乾燥した気候になるとともに、暖房器具が広く使われるこの時期に、いざ火災が発生したときに子どもたちが素早く避難できるようにするために行われました。

大河原小学校では11月13日に実施。校内からの出火を想定した避難訓練を実施するとともに、救助袋を使った3階からの脱出訓練も行いました。



救助袋で脱出(大河原小)

また、子育て園では10月21日に実施。園児たちは、先生の指示に従って、一生懸命に園庭に避難していました。



大人しく真剣に避難する園児たち(子育て保育園)

中島菊野さんに

県文化奨励賞

昭蘭書道会を主催する中島菊野さん(森下中)が11月18日、県庁で群馬県文化奨励賞を受賞しました。この表彰は、県の文化の振興と発展に寄与した方や団体に贈られるもの。中島さんは、沼田書道協会の理事を務め、村文化協会でも書道分野の中心として、技術向上や後進育成に多大な貢献をされています。中島さんは「これまで生活の合間に活動に取り組んできました。これからも無理せず、仲間たちとともに頑張りたいです」と喜びを語りました。



受賞した中島さん



参加しやすい夜に開催される創業塾

起業の夢を応援、創業塾を開催

村商工会が主催する「昭和村商工会創業塾2019」が11月13日から役場会議室で始まりました。



ノウハウを熱く語る綿貫先生

これは、村内に住んでいる方や村内で創業を希望している方などを対象に、創業の知識を楽しく学んでもらおうと、村と商工会が企画しているもの。講師は経営コンサルタントとしても活躍中の人気講師、綿貫有二先生が務めています。参加者は、創業に向けての基礎知識や、儲かるための仕組み作り、初めてでも売れる営業や販売の方法からインターネットの活用に至るまで、多岐にわたり創業のノウハウを学んでいます。講義は全4回で、12月18日まで行われます。

人権教室で

「ボッチャ」を体験

東小学校で人権教室「ボッチャ体験会」が11月26日に行われ、児童106人がパラリンピック正式競技「ボッチャ」を体験しました。ボッチャは、2チームがそれぞれ赤と青のボールを投げ、白の的玉に近づくかを競う競技。この日は、沼田人権擁護委員協議会と前橋地方法務局の協力で、子どもたちは仲間と楽しみながら競技に取り組み、人権意識について考えました。

初めてボッチャ体験した田口慈人君(3年)は「みんなでやると声も出るし、笑顔も増えるので楽しかったです」と話していました。



白の的玉近くに投げ歓喜

村内バレーボール大会で熱戦

第52回村内バレーボール大会が開催され、70チーム、およそ850人が大会に参加しました。12面の特設コートが設置された総合運動公園では9人制バレーボールの4部門が、社会体育館ではソフトバレーボールの部がそれぞれ行われました。

当日は、肌寒いものの穏やかな気候でバレーボール日和。参加者は、各コートで練習の成果を発揮し、熱戦を繰り広げていました。

▼各部門の優勝チーム Aの部…夜露死



Dの部で優勝した「群馬残留組W」

苦、Bの部…偽物ですよB、Cの部…選抜チーム、Dの部…群馬残留組W、ソフトバレーボールの部…21会



熱戦を繰り広げる参加者